

学生に対する支援について

2023公明党学生局提言

【2月21日に永岡文部科学大臣へ提言】



●一人の学生らの声に寄り添う取組

2017年より全国の学生らの声を懇談形式で聴く「**Qカレ**」をスタート。

今般、コロナ禍や物価高等の影響により、困難を抱える学生らの**現場の声(下記)**を反映した提言を申し入れ。

<主な学生らの声>

「高等教育無償化の拡充」を求める声

●大学生

学業に専念できるよう**給付型奨学金と授業料等減免を中間所得世帯まで拡大**してほしい。**多子世帯、理工農・芸術・医療系**を専攻する学生には優先的に配慮してほしい。

「留学費用の負担軽減」を求める声

●高校生

アメリカの大学をめざしているが学費が高い。奨学金を借りたいが、将来返済できるのか、家庭をもてるのか心配。**海外留学のための給付型奨学金の充実**をしてほしい。

「通教生への就職活動支援」を求める声

●通教生

自分の通っている大学では、通教生は**キャリアセンターが使用できないなど、不利益を被る場面**がある。また、レポート提出以外にアピールできる点がなく就職面接時に苦しい。

「不登校の子どもの多様な学びの機会充実」を求める声

●高校生

不登校の子どもたちの居場所が少ないと感じる。それぞれの個性を生かせる**フリースクールをはじめとした学びの場**を増やしてほしい。